

「そぞろ歩きルール」の実施効果と 将来目標とする交通環境の実現に向けて

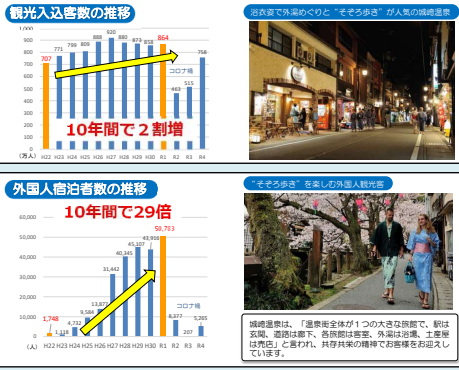
山崎 博巳 / 豊岡市役所 建設課(城崎温泉交通環境改善協議会事務局)
土井 勉 / グローカル交流推進機構(同協議会アドバイザー)

1. 背景と目的

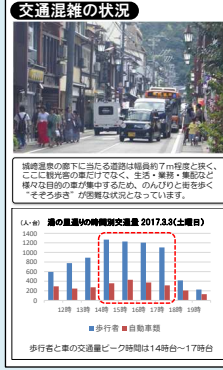
(1) 城崎温泉の概況



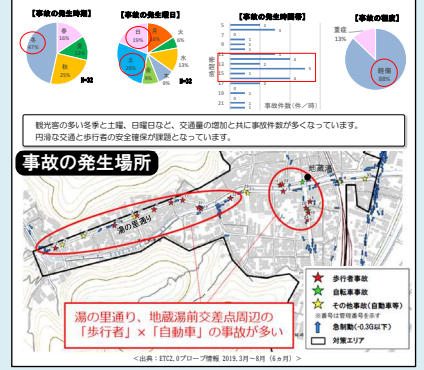
(2) 観光の状況



(3) 繁忙期の交通渋滞



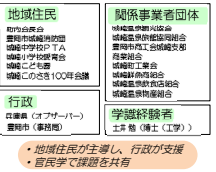
(4) 交通事故の発生状況



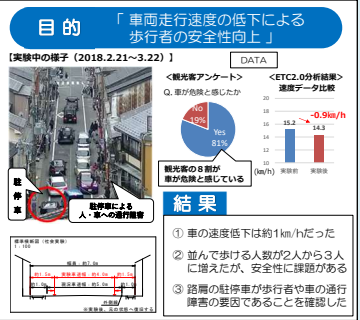
「安全・安心な“そぞろ歩き”の実現」に向け、地元住民が主体となって取り組みをスタート

2. 交通環境改善策の検討

(1) 協議会の設立



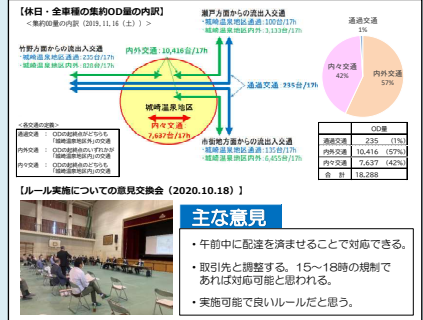
(2) 歩行空間拡大の社会実験



(3) 駐停車抑制の社会実験



(4) 交通の現状把握とルールについての意見交換



地域の合意を確認し、ルールの取り組みをスタート

3. そぞろ歩きルールの内容と効果

城崎温泉街のより良い歩行空間の確保を目指して「そぞろ歩きルール」をスタート (2020年12月1日)

ゾーン30区域 (車両走行速度30km以下)

15時~18時は「駐停車を控える」「車の使用を控える」

★「多少の不便」を、地域住民や事業者が共有して、交通課題の解決に取り組めます

町内駐車場を活用する

★短時間の所用であっても町内駐車場を利用し、交通障害となる路上駐車を削減します

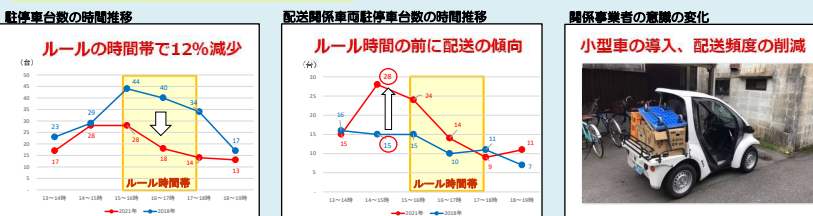
「交通マナーを守る」(歩行者を優先する)

- 断続的な路上駐車をしない
- 見通しの悪い場所で駐車をしない
- 進行方向と逆向きに駐車をしない

以下のことを地域の皆さんへ呼びかけています

- 車を使用する時間帯の配慮
- 荷動き、集配等の業務時間などについて事業者間での調整
- 駐停車や走行速度などの交通マナーについて、従業員の方々もきめた再認識
- 町内駐車場を活用し、路上駐車を削減することへの配慮

「そぞろ歩きルール」の主な効果



考察

- 地域住民・事業者間でルールの時間帯を避ける行動がみられる
- 車利用属性ごとの道路空間のタイムシェアリングにつながっている

4. 将来目標とする交通環境

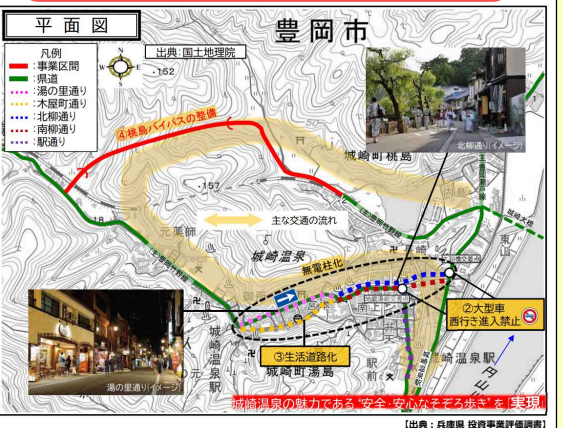
「城崎温泉街交通環境改善計画」を策定 (2021年7月)



- 計画の柱**
- 地域一体での「そぞろ歩きルール」の推進
 - 温泉街中心部の「湯の里通り」の一方通行化 他
 - 車両流入抑制策(フリンジパーキング)の検討

計画の実現には温泉街の迂回路が必要であり、兵庫県へ「桃島バイパス」の整備を要望

2023年度「桃島バイパス」が新規事業化!



5. 今後の展開 ~さらに魅力ある温泉街の実現へ~

★計画の効果や課題を確認するための社会実験を行い、更に検討を進めています。

関係事業者による「そぞろ歩きルール進捗検討会」2022.12.22

今後城崎温泉の取り組みにご注目ください!